

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30年 11月 25日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470104369		
法人名	社会福祉法人 広島光明学園		
事業所名	グルーホーム光明牛田		
所在地	広島市東区牛田本町6丁目1-1 (電話) 082-207-4172		
自己評価作成日	平成30年10月2日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2018_022_kani=true&JigyosyoCd=3470104369-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成30年11月13日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

新しい施設に変わり利用者様に明るく楽しい1日を過ごして頂くように努めています。本部の園児とのふれあい行事には参加をして楽しい時間が過ごせるようにしています。地域とのふれあい交流を少しでも持てるように積極的に参加させて頂いています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は公共交通機関や幹線道路の近くに立地し、周辺にはスーパーマーケットもあり、利用者にとっても、歩きやすい広い歩道もあるなど、居住環境としては申し分のない地域にある。
母体の社会福祉法人の運営する幼稚園や特別養護老人ホーム等が隣接敷地にあるほか、同じ敷地内に時代の要請に応じて「アフタースクール」も併設された同じビルの中で、グループホームを運営しており、事業所周辺には子どもたちの元気な声がこだまする環境である。
もともと他の場所にあった事業所を30年4月に移転して、現在の位置で運営を行っているが、地域の中で、利用者一人ひとりの特徴を踏まえた介護や対応を行い、日常生活動作の低下を防ぐ取り組みを行っている。現在は1ユニット9名の運営であるが、少人数介護の特性を活かした、きめ細かい対応を行っている事業所である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。</p>	<p>法人全体の理念「三宝一如」とグループホームの理念そのものが地域密着を目指している。理念をもとに、地域の行事への参加を通じ、実践につなげている。</p>	<p>高齢者や地域、子どもたちなど世代を超えたふれあいや交流を大切にする理念のもと、毎朝の申し送り時に唱和をし、職員間の意識統一を図っており、ケアの向上に繋げるべく日々の実践に取り組んでいる。交流行事も活発に行われるなど、子どもとのふれあいを通じて利用者の笑顔につながっている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。</p>	<p>町内の行事にさせて頂いたり、散歩や買い物等に参加して頂く事で地域の方々とのふれあいを持っている。個別で馴染みのスーパーへの買い物の支援や、行きつけの飲食店への外出支援等、地域との関係性が途切れないようにしている。</p>	<p>地域行事を通じて地域の方々に溶け込むように努めている。町内の神社の祭り、防災フェアや、ほうずき祭りのほか、認知症カフェなどに参加しながら地域の人との繋がりを強めている。日常的に、地域の生活者の一員として交流している。</p>	
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。</p>	<p>地域行事、法人行事へ参加し、地域の方々との交流を通じ、認知症のご利用者様と触れ合ってもらい、認知症への認識を深めて頂いている。又、認知症サポーター養成講座に参加し、地域の方へ認知症について話す設ける事もある。</p>	/	/
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>ご家族、民生委員、地域包括支援センターの職員を招き、意見交換を行い、サービスの向上に努めている。</p>	<p>運営推進会議には、家族の方や地域住民代表の方民生委員の方々と情報交換を行い、事業所のサービス向上に努めている。以前運営していた場所から移転する際も、民生委員とのスムーズな引継ぎもなされている。</p>	
5	4	<p>○市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議の報告を、開催に介護保険課へ送付している。又、入所者が他サービスを利用するにあたり、事業所で不明瞭な点等について、問い合わせる等、おこなっている。</p>	<p>地域に対しては法人グループとして関わり、認知症サポーター養成講座に事業所職員が講師として協力し、地域住民向けの講座にも講師として派遣するなど、市の事業に関わることで協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関への施錠は行っていない。身体拘束については、年1回は必ず施設内研修を開催し、研修で得た情報を職員で共有している。年間3ヶ月に1回は職員で研修を行なっていく事になり実行している。</p>	<p>職員全体が拘束しない介護に努め、身体拘束排除マニュアル策定し言葉の拘束、不適切なケアをしない事を職員と考え介護をしている。その結果、排泄パターンを把握して見守りを行うことで身体拘束の必要性をなくすなどの取り組みにつながっている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>施設内研修を開催し、研修で得た情報を職員全体で共有している。職員一人一人の発言にも注意を払い、防止に努めている。新入社員には、入職時、管理者が虐待について、オリエンテーションを行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>実際に利用されている方がいるため、担当者とやりとりをしながら、職員一人一人必要性を学ぶ機会が持っている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に重要事項を説明させて頂き、理解と納得を図っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見・要望を受け付けているが、書面での受け取りは難しい為、来所された際に気付きや要望を伺い、介護サービス計画書や運営面に反映させている。</p>	<p>ケアプラン作成時に家族の意見を聞いたり、面会時に積極的に家族からの聞き取りを行っている。その結果、薬を飲みにくい方にはゼリーを使用したり、食事摂取も本人の摂食動作を保つために本人に行ってもらするなど、日常生活動作の維持向上を踏まえた計画作成につながっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	担当者会議や職員会議にて、職員一人一人に意見を聞く機会を設けている。発言が少ない職員の意見を聞くための事前アンケートの実施や、個別面談の機会を設け、職員から意見を引き出せるようにしている。	職員に対し、半期ごとに面談を行い要望を聞いているほか、日常の業務遂行の中で、職員の意見を聞いたり、「希望休」を取りやすくして労働意欲を高めている。日頃から職員意見を聞く機会を設け、ケアに反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	希望休暇をシフトに反映させる。時間外労働ができる限りないように業務の分野や声掛けを行い、超過勤務時には時間外手当の支給と、時間調整を図り、負担の軽減を図っている。法人オリジナルのチャレンジシートで年2回目目標設定を個々にしてもらい個別面談にて、前期・後期と、目標と実績に沿った評価を実施し、やりがいに繋がるようにしている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	個別に目標を設定し、面談をする事で、今現在の個々のレベルを自覚してもらいながら、今後の取組みを一緒に考え、職員が成長できるようにサポートしている。施設内研修や施設外研修等への参加を促し、外部からの知識等も取り入れられるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	施設外研修への参加を促している。又法人内での委員会に各職員を配置し、事業所だけの人間関係だけでなくネットワーク作りを行っている。又施設内研修でも、グループワークを中心として実施している為、他事業所との意見交換や、ディスカッションを実施しており、少しでも個々のレベルアップできるように取り組んでいる。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	サービス利用前に面談し、現状における心境への配慮、要望等の確認、アセスメント、担当者会議を通じ、安心してサービスの利用をして頂けるよう、又良好な関係が築けるように取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>サービス利用前の面談や契約時にご家族様の置かれている立場や心境に耳を傾け、サービス利用開始されてからも、面会等にお越しになられた際に、お話を聞かせて頂き関係づくりに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>しっかりとした話し合いのもと、求められているサービス（例えば訪問歯科の利用）必要なサービスの調整、通いなれた病院への通院等希望に随時対応していけるように努める。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>ご本人家族と担当者会議等にて、しっかり話し合いをしながら、ご本人様のできる事を見極め自立支援を行っている。又職員の苦手な分野（例えば料理や洗濯物の畳み方、園芸等）を教えて頂いたり、何事も一緒に取り組みをする事を心掛けている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会等の際には随時声掛けを行い、ご本人がよりよい生活を送って頂きたい旨を伝え、意見をサービスに反映させている。又、通院等ご家族に協力を頂ける事についても話をしながら、難しい時にはホームで対応する等、双方が協力をしながら本人を支えていけるように努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>地域行事に参加して頂きながら、馴染みの関係が保てるように努めている。又日常的に、昔からの行きつけのスーパーや病院、食事処への外出の支援にて、知人や友人等大切な「人」「場所」との関係が薄くならないように努めている。</p>	<p>以前からの知人や友人の来訪があったり、買い物に出かけたときに知人と会うなど馴染みの関係の継続のために職員による支援がなされている。また、気軽に訪問が出来る事業所作りを行うことで、事業所が「新しい馴染みの関係」となるような支援に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日々ご利用者様同士の良好な関係が続くよう、又、新規入所者の方には、職員が会話等の架け橋となり、関係の構築に努め、集団レク等により、楽しいひと時の提供の中で更に関係性が良くなるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約が終了しても相談が入れば対応している。例えば、退所された後に電話連絡させてもらい、写真の提供や、状態の確認、要望や相談があった場合には随時対応している。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	担当者会議や事業所の会議にて、本人、ご家族の意向を踏まえながら、生活がより良い物となるように努めている。困難な場合においても、職員間で話し合い、できる限り最善のサービスが提供できるように努めている。	本人から食べ物の希望があれば、食事に一品追加したり、厨房の食事をとめて事業所内で昼食を作ったり、近くの喫茶店やレストランでの外食を取り入れるなど、本人の希望に合わせ対応している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	サービス利用前に事前調査し、ご家族やご本人からアセスメントによる情報の把握に努めている。サービス利用開始後にも、日常生活の中から情報収集を行い、把握に努める。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ご利用者様との日々のコミュニケーションや、観察により、本人の出来る事や出来ない事を見極め、職員間で情報の共有に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>職員間で話し合った事を、再度ご家族に報告、検討してもらい、必要に応じて医療機関等の関係者と連携しながら現状に即した介護計画書の制作に努めている。</p>	<p>本人の意見と家族の希望を取り入れて計画の見直しを半年に一度行っているほか、外出行事も取り入れている。特に栄養面に関しては、食事内容やカロリー摂取状況も把握し、計画に反映するように努めている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別記録だけでなく、担当者会議、事業所会議、ヒヤリハット報告書、事故報告書等をもとに、サービスの内容の見直しを行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>気持ちが落ち着かない時には、ご家族様と連携し、自宅へお連れしたり、知人の方と連携し知人宅へお連れしたり、行きつけの食事処にご案内する等の取り組みを行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>保育園との交流や、地域行事への参加、日常生活での散歩や買い物等、外出の支度を心掛け、外での生活の充実を図っている。個別レクや集団レク等の提供も行い、日常生活が楽しくなるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>通いながれた病院への受診を基本としている。ご家族が通院される場合においても、担当医との面識を作る取り組みをしている。</p>	<p>事業所から協力医や近隣のかかりつけ医には本人の状況を伝えたり受診情報をケース記録や申し送りノートを共有している。また、法人内の看護師とも連携し、本人の状況を把握するよう努め、適切な医療を受けられるような支援がなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>連携している医院へ日々症状報告書を送り、情報の共有に努めている。何かあった時には電話連絡し、相談・助言を受けている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院中定期的に面会に伺い、主治医や医療連携室、薬剤師や看護師への状況の確認を行いながら、退院に向けて備えを行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>契約の際に重要事項の説明として、伝え同意を得ている。又、面会に来られた際には、現状を伝え、ご家族へ、事業所として提供できる限界について等説明しながら、ご理解頂けるように取り組んでいる。又、入院時に継続した医療が必要となる場合には、主治医や入院先の医師に相談し、連携を図りながら、チームでの支援に取り組んでいる。</p>	<p>契約時に事業所で対応できる範囲について一通り家族へ説明を行っているほか、実際に重度化した場合は、医師と家族とも協議を行い、事業所で看取れる段階と説明を行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>特に夜間等の急変に備え、新入職員への緊急時の対応について、管理者が説明を行い、訓練を実施している。急変時のマニュアルに基づき研修で年1回実践を行っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>避難訓練を実施し、災害発生時に備えて訓練を行っている。夜間帯を想定し、野外への避難誘導が身に付くよう訓練している。</p>	<p>災害マニュアルを作成しているほか、避難訓練も実際に行っている。また、隣接する母体法人事業所においては災害時地域住民のために避難場所として提供できるなど、近隣との協力体制を整えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	些細な事に注意が払えるよう日頃から職員全員で注意しあいながら、プライバシーや尊厳を損ねない対応に気を付けている。	トイレ介助時など、他から見えないよう、利用者のプライバシーを尊重しながら介護を行っている。トイレ介助中もトイレの中まで入らず外で見守りを行い、声掛け対応を行ったり、居室に入る時もノックを行っているなど、利用者の誇りやプライバシーを損なわない言葉かけや対応を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	行動する前には、必ず、ご本人の意向確認を行うよう取り組んでいる。答える事が難しい方でも質問の仕方を選択肢を設ける投げかけを行い、自己決定に繋がるよう取り組んでいる。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	業務優先とならないように常日頃から注意をしながらご本人にペースを合わせて支援をさせて頂いている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	更衣時・入浴時には必ずご自身に服を選んで頂いている。又、ご自身で身だしなみを整えることが出来ない方は、お部屋から手で来られる際には、服や頭髪の乱れを職員が整えるように取り組んでいる。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事メニューを食事前に伝え食事を楽しみにして頂く様に努めている。音楽をかけながらリラックスして頂けるよう環境を整えている。嫌いなものがある日には個別メニューを作るようにしており、リクエストをお聞きしメニューに取り入れる事もある。	利用者の生活歴に即した一品料理の工夫のほか、厨房食に替えて嗜好に合った調理や外食などの個別対応を行っている。好き嫌いのある食材には一部で別メニューの対応を行っている。おやつも、レクリエーションの中に組み込むなど、食事を楽しむことのできる支援がなされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>水分量を確認しながら、少ない方へのアプローチは目標に掲げる等し、こまめに摂って頂けるよう、好みの飲み物を取り入れながら提供している。食事に関しても、個別に形態を調整し、好みに合わせて提供する時もある。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアの実施をご利用者様に実施している。訪問歯科の医師と連携し、個別的に指導を仰ぐこともあり、口腔内の衛生が保てるように取り組んでいる。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>基本にご利用者様トイレ誘導を実施しトイレにて排泄して頂けるよう誘導している。個別に排尿パターンを把握し、訴えがあった場合には随時誘導を行っている。</p>	<p>利用者の日常の行動から、排泄の予兆を察知した適切な対応がされている。トイレのドアの内側に、プライバシーと安全面に考慮したカーテンを設置して、自立した排泄ができるよう支援をしている。日中はトイレやパットのみの対応など、排泄の自立に向けた支援がなされている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便がなかなかない場合には，お風呂やトイレにて腹部マッサージさせて頂く等し，自力排泄が促せるよう取り組んでいる。毎日乳製品ヤクルトを飲んで頂いている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴の希望を確認し，その希望に沿えるように声掛け促しをさせて頂いている。順番に関しても，一番風呂を好まれる方，最後を好まれる方等それぞれの希望に沿って一人一人の支援を行っている。入浴剤を好まれる方等への対応も行っている。</p>	<p>入浴時間は本人の希望に沿って午前・午後に分けて入浴してもらっている。本人が入浴を希望されない日は，日を改めて日程を変更するなど，柔軟に対応している。また，入浴動作も自分で動きやすいように，浴室内に可動式の手すりを設置されているほか，入浴の度ごとに湯を入れ替えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>日中の活動後の休息への配慮を 個々に行っている。日中傾眠が 強い方は、少しの時間ベットで 休んで頂き夜間の影響がないよ うに取って頂く。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>服薬マニュアルに沿って提供を 行っている。日々の状態に配慮 し、内服薬の見直し等、体調に 変化があった場合には医師に 相談し、調整をして頂いたりす ることもある。変更があった場 合には必ず、職員間で申し送り を行い、情報の共有化に努めて いる。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>会話が好きな方にはしっかりお 話をしながら、他者と繋がり ができるよう取り組みを行って いる。カラオケが好きな方には カラオケを提供し、手作業が 得意な方にはそちらを提供す る等1日の中で、生活が楽しく なるよう支援を行っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられるよ う支援に努めている。また、普 段は行けないような場所でも、 本人の希望を把握し、家族や 地域の人々と協力しながら出 かけられるように支援してい る。</p>	<p>月の目標に掲げ、計画を立て ながら外出の支援を行っている。 例えばお墓参りや買い物、和食 料理屋への外食等、個々の希 望を確認しつつ、家族と連携 を取りながら外出が出来るよ うに取り組んでいる。</p>	<p>本人の希望に合わせて、介護 計画の中に外出を含めたり、 希望に応じ外出を行っている。 また、外出しやすいよう、事 業所で専用の車があり、外食 や、季節によってはイルミネ ーションを見に行くなど、日 常的な外出がなされている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	<p>金銭に関しては基本家族が管 理されている。中には社協の 福祉サービス利用援助事業「 かけはし」を利用され、自身 で管理をされている方もおり、 外出の希望があった際に使用 されている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望時にはホームの電話にてご家族と連絡を取り合う方もいらっしゃる。手紙についても書かれた際には、職員と一緒にポストへ投函しに行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節の花や、ご利用者様と一緒に季節の飾りを作り、一緒に飾る等行っている。光が強い時には居室やホールのカーテンを閉める、心地よい風が入る時には窓を開放する等、環境面への配慮も行っている。</p>	<p>共有スペースのホールでは、暖色系の照明や、メダカのある水槽、広い空間のホールの他、ソファに座って頂き音楽を流し、リラックス出来るよう季節の花など飾り付けたりしている。本人が居心地よく過ごせるような工夫がなされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>食事時以外は自由に席に座って頂き、ご利用者様に自由に使って頂いている。居場所作りとしては、ソファが好きな方や一人がけのテーブルが好きな方等出来る限り個々に合わせ対応させて頂いている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>基本的に入所の際には、ご家族様にご本人が使い慣れた物を持ってきて頂けるようにしている。プレゼントや本人が作られた作品等を飾り、自由にさせて頂いている。</p>	<p>使い慣れた食器や家具などを持ち込み、なるべく本人が事業所内の生活に慣れるような配慮がされている。各居室の窓ガラスには「ペアガラス」を設置し、空調にも配慮し、広いベランダスペースでは、日常的に外気に触れることもできる設営が特徴である。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>ご自身の所有物に制限はかけず、持ち込んで頂いている。日常生活においても、極力手は出さず、見守る事から状況を見極め、それぞれに合った支援を心掛けている。本人様に出来る水槽の魚のえさをあげる事や、花の水やりなどを自分で行ってもらっている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	③たまに
			④ほとんどない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	③あまり増えていない
			④全くいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の3分の2くらいが
69	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
70	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
71	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
72	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の3分の2くらいが
73	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム光明牛田

作成日 平成31年1月28日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議を活かした取組み	家族の方にも参加して頂く。	家族会を開いて昼食を利用者様と一緒に食べて頂き、その後に運営推進会議へ出て頂く。	6ヶ月
2	18	日常的な外出支援	スーパーや外食やファミリーレストランでお茶をしたりしたい。	何人かづつでレストランなどに出掛け、食事・お茶などの外出行事をしていきたい。	3ヶ月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。